

藤里町太陽光発電導入事業 三施設電気使用量の推移

東日本大震災後、平成25年度（平成26年度運用開始）に、災害に強い街づくりのため、環境省のGND（グリーンニューディール）事業を活用し、藤里町内三施設へ太陽光発電・蓄電設備を導入しました。

大震災等災害時、停電が長時間に及ぶ場合、この三施設においては、5kwhの蓄電池と太陽光発電により、電源を供給することができます。

通常時は、太陽光発電した電気を蓄電池へためて、余った分を施設で消費しています。

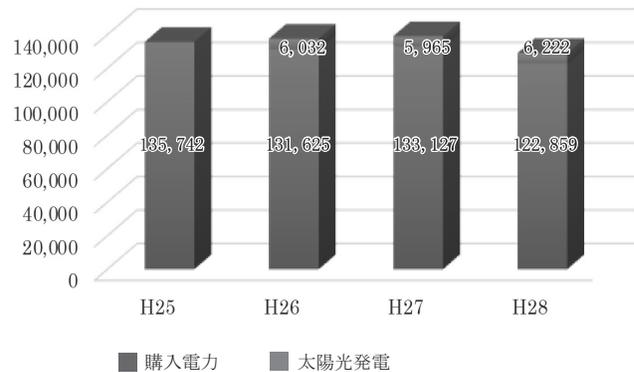
太陽光発電導入前（H25）と導入後、3ヵ年（H26～28）で、電気使用量がどのように変化したかを検証いたしました。

①三世代交流館

（単位：kwh）

	年間使用量	月平均
H25	135,742	11,311
H26	131,625	10,968
H27	133,127	11,093
H28	122,859	10,238
H25比増減H26	▲4,117	▲343
H25比増減H27	▲2,615	▲217
H25比増減H28	▲12,883	▲1,073
H26太陽光発電分	6,032.68	502.72
H27太陽光発電分	5,965.74	497.14
H28太陽光発電分	6,222.53	518.54

三世代交流館電気使用状況



三世代交流館の電気使用状況は、平成25年度に比べ、平成26年度4,117kwh、平成27年度は2,615kwh減少しています。これは、太陽光で、6,032kwh、5,965kwh発電されたことで、減少したものと分析されます。

平成28年度は12,883kwhと大きく減少しております。これは、太陽光発電分6,222kwh分と、省エネタイプのエアコンへ更新したことで6,661kwh分が減少したものです。

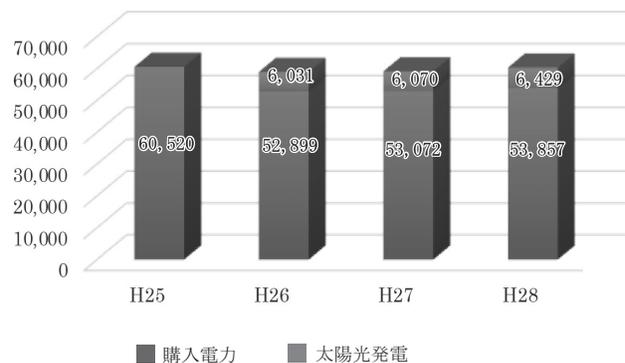
昨年比、倍以上、省電力化へ貢献しております。

②藤里小学校

（単位：kwh）

	年間使用量	月平均
H25	60,520	5,043
H26	52,899	4,408
H27	53,072	4,422
H28	53,857	4,488
H25比増減H26	▲7,621	▲635
H25比増減H27	▲7,448	▲620
H25比増減H28	▲6,663	▲555
H26太陽光発電分	6,031.83	502.65
H27太陽光発電分	6,070.59	505.88
H28太陽光発電分	6,429.38	535.78

藤里小学校電気使用状況



藤里小学校の電気使用状況は、平成25年度に比べ、平成26年度7,621kwh、平成27年度7,448kwh、平成28年度6,663kwh減少しています。これは、太陽光で6,031kwh、6,070kwh、6,429kwh発電されたことで、減少したものと分析されます。

施設規模が三世代交流館の約半分なので、倍以上の10%以上省電力化へ貢献しております。